

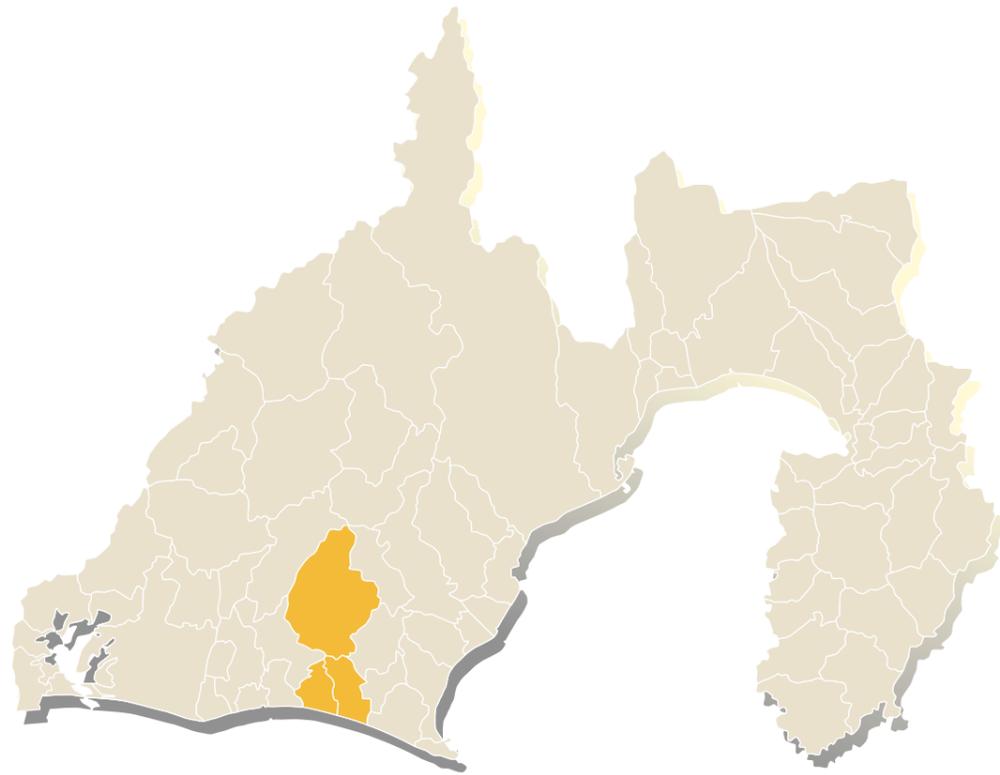
# 市町村合併に向けて

● 新都市ビジョン概要版 ●

海と山と街道がつながり 夢・未来を創るまち



掛川市・大東町・大須賀町 合併協議会



## 目次

新市の将来ビジョン	3
合併の必要性	5
1市2町の資源特徴	7
1市2町の重要な課題	9
分野別目標	11

## ▶ これまでの経過

掛川市、大東町、大須賀町では、平成14年4月に合併調査研究本部を設置し、合併の基礎的研究を行ってまいりました。また、平成15年4月に任意合併協議会、そして10月には法律に基づく合併協議会を設置して、1市2町の合併について協議を行ってまいりました。

なお、合併に関する協議事項のうち「新市のまちづくり」については、合併協議会委員により構成された新市建設計画策定小委員会が中心となって、6月から通算8回の委員会で検討を進めてまいりましたが、このたび新市の将来像(新都市ビジョン)をとりまとめましたので皆様に概要のご報告をいたします。

## ▶ 新都市ビジョンの位置づけ

新都市ビジョンは、掛川市、大東町、大須賀町の合併による新市のまちづくりのあり方を示したものです。新市の資源特徴、主要課題を踏まえて、新市が目指すべきまちづくりの将来像や基本目標(分野別目標)、新市が取り組むべき主要施策を明らかにしており、新しいまちづくりの基本計画である新市建設計画の一部となるものです。

今後策定される新市建設計画は、この新都市ビジョンの考え方に沿って検討されます。新市建設計画には新都市ビジョンを実現する上で最適な事業を選択するとともに、財政的な検討を加えていきます。(新都市ビジョンは、新市建設計画の構想部分に相当するものです。)



# 新市の将来ビジョン



市町村合併に向けて

## “海と山と街道がつながり、夢・未来を創るまち”

「海」は遠州灘を、「山」は新市北部の山間地を意味しています。この「海」と「山」は、新市が自然環境に恵まれていることや、豊かさを備えたふるさとであることを示しています。そして「街道」は、新市を東西に横断している東海道新幹線や東名高速道路などの全国的にも重要な交通網を意味し、「人」「物」「情報」の動脈を抱えていることを示しています。この「海」と「山」が融合し、さらに「街道」と連携することによって、新市全体はさらなる発展の可能性が広がり、住民の「夢」を実現し、「未来」を創造していくまちに変わること示しています。

### 南北軸の創出、東西軸との連携によって

便利になる、豊かになる、一つになる。

南北幹線道路を中心とする南北軸を創出し、遠州灘から掛川北部山系に至る円滑な往来を実現します。この南北軸と東西軸を連携させることによって、新市全体の生活利便性を高めていきます。新市の広域的な交通条件がさらに向上することを活かして、人、もの、情報の交流を活性化させ、優れた人材、勢いある産業が集積する豊かなまちとします。そして南北軸が新市の背骨となって地域相互の一体性を強めるとともに、住民の気持ちも一つにしていきます。



### 都市と田園の良さを充実させ

元気になる、楽しくなる、安心できる。

都市の利便性を一段と向上させ、田園の快適性をさらに充実させるとともに、1市2町が築き育ててきた公共施設、人材を結ぶネットワークを形成し、更なる有効活用を図り、元気あふれるまちとします。新市には遠州灘、小笠山をはじめとする地域資源があり、それらの持つ魅力を引き出し、楽しさあふれる生活を提供します。さらに新市の医療、福祉分野の機能充実や連携を進めると同時に、生活環境の向上に力を入れて、住民が心から安心できる暮らしを実現します。

健康長寿のまちづくり

海山連携のまちづくり

Kakegawa-shi

生涯学習のまちづくり

Osuka-cho

Daito-cho

### 住民参加と協働、報徳精神によって

優しくなる、手をつなぐ、未来を拓く。

住民が新市のまちづくりに積極的に参加し、住民、企業、行政が相互に協力することによって、地域で福祉や教育を支え、地域で環境を守る優しいまちを実現します。異なる風土を育んできた地域間の連携や、住民と行政のパートナーシップの確立を積極的に進め、効率的な地域運営を目指すとともに、視野の広い次代を担う人材の育成、住民活動を支援し、住民が主役となって、新市の未来を拓いていくまちを実現します。

